



● 全国的に梅雨入りの様相→徒長対策、着果促進、裂果予防

雨や曇天が続くと非常に徒長しやすくなります。それに加えて雨が多い場合は、水の吸い上げと共に窒素も吸収して軟弱になります。曇雨天が多い梅雨時期は、MリンPKをあらかじめ散布しておいて、雨と共にリン酸も吸収できるようにしておき、対策としてください。粒状のMリンPK類は約20~30日の肥効ですので、一回の散布で概ね梅雨時期の対策ができます。(以下、全て10aあたり)

水 稻

葉色、分けつ数、草丈を確認します。過繁茂傾向の場合、幼穂形成期前ならつなぎ肥としてMリンPKのみを施用。幼穂形成期後なら穂肥のMリンPKを増量します。3日間は水が溜められる時がムダなく吸収させられま

調節肥	MリンPK類 1袋
	既に調節肥を施用した場合、状態に応じて 5~10kg
穂肥	MリンPK類 1~1.5袋

露地畑作

徒長予防、根痛み予防、落花予防、耐病性強化としてMリンPKを施用します。マルチを掛けていても株元に水が入るなら効果がありますので畝上、畝肩、畝間に散布して下さい。

軟弱葉物	0.5~1袋
結球葉物	1~1.5袋
根菜	1袋
果菜類	1~1.5袋
豆類	0.5~1袋
地這つる物	1~1.5袋
白ネギ	1袋
ブロッコリー	1~1.5袋

※実の肥大期など生殖生長期になっているものは、上記にMリンPK類1/4~半袋を追加して施用。

施設園芸

日照不足によって徒長やデンプン不足への対策が必要です。樹勢を落とさずに徒長させない調整と、過湿による病害対策として耐病性強化も同時に実施します。また、ハウス外からしみ込んでくる雨水への対応も行います。

徒長対策、光合成促進、耐病性強化
MリンPKマグ 1~1.5袋 散布または
置肥 通常の液肥の代わりに、
アミビタゴールド 5~10kg カン水施肥
発根促進、耐病性強化(カン水)
① バイオ根助 10~20ℓ
② キトチンキ 1.5~3ℓ 混用カン水施用
発根促進、耐病性強化(葉面散布)
③ リーフアップバリア 500倍液
④ Pフォスタ 500倍液
3~5日おきに天候回復まで混用葉面散布
ハウス外側の水対策
MリンPK類 5~10kgを外周にスジまき

果 樹

裂果予防、落花予防を最優先。特に裂果しやすい樹種は収穫までMリンPKを効かせ続けます。

裂果予防

1.5~2袋 樹冠下、又は全面散布
落花予防、着色促進、糖度向上
1~1.5袋 樹冠下、又は全面散布
※ハウス外側の水対策は上記の通り